SOUND on SOUND
UNLIMITED TRACK RECORDER

取扱説明書

KORG

Ⓙ①

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△記号は、注意(危険、警告を含む)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⃠記号は、禁止(してはいけないこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制(必ず行うこと)を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください

⚠警告

この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます

- **ACアダプターのプラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。**
- **ACアダプターのプラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。**
  感電やショートの恐れがあります。
- **本製品はコンセントの近くに設置し、ACアダプターのプラグへ容易に手が届くようにする。**
- **次のような場合には、直ちに電源を切ってACアダプターのプラグをコンセントから抜く。**
  ○ ACアダプターが破損したとき
  ○ 異物が内部に入ったとき
  ○ 製品に異常や故障が生じたとき
  修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。
- **本製品を分解したり改造したりしない。**
- **修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれている以外のことは絶対にしない。**
- **ACアダプターのコードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、ACアダプターのコードの上に重いものをのせない。**
  コードが破損し、感電や火災の原因になります。
- **大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。**
  大音量で長時間使用すると、難聴になる可能性があります。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。
- **本製品に異物(燃えやすいもの、硬貨、針金など)を入れない。**
- **温度が極端に高い場所(直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など)で使用や保管はしない。**
- **振動の多い場所で使用や保管はしない。**
- **ホコリの多い場所で使用や保管はしない。**
- **風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。**
- **雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。**
- **本製品に液体をこぼさない。**
- **濡れた手で本製品を使用しない。**

⚠注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物理的損害が発生する可能性があります

- **正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。**
- **ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。**
  ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
  本製品をテレビ等の横に設置すると、本製品の磁場によってテレビ等の故障の原因になることがあります。
- **外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。**
- **ACアダプターをコンセントから抜き差しするときは、必ずプラグを持つ。**
- **長時間使用しないときは、電池の液漏れを防ぐために電池を抜く。**
- **電池は幼児の手の届かないところへ保管する。**

- **長時間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜く。**
- **指定のACアダプター以外は使用しない。**
- **他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。**
- **本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。**
- **電池を過度の熱源(日光、火など)にさらさない。**
- **スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。**
  故障の原因になります。
- **外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーは使用しない。**
- **不安定な場所に置かない。**
  本製品が落下してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- **本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。**
  本製品が落下または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。
- **LCD画面には、次のようなことを絶対しない。**
  ○ シャープ・ペンシルのように先の鋭いもの、硬いものでLCD画面を強く押したりこすったりする。
  ○ LCD画面の隅を、ペンや爪などで強くこする。
  本製品が損傷してお客様がけがをしたり、本製品が破損する恐れがあります。

データについて

操作ミス等により万一異常な動作をしたときに、メモリー内容が消えてしまうことがあります。大切なデータは、あらかじめ他のメディア等へセーブしておいてください。データの消失による損害については、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権について

著作権者から許諾を得ていない著作物を、個人、家庭内、またはその他のこれに準ずる限られた範囲以外で使用した場合、著作権侵害となり、損害賠償を含む補償を負う場合があります。そのような著作物を録音したものはもちろん、著作物に手を加えて作られたものにも、著作権者の権利が含まれていますので、これら成果物の転載、配信などは、著作権侵害となります。著作権侵害によって発生した損害賠償などは、当社は一切の責任を負いかねます。使用者自身の権利について不明確なときは、法律の専門家に相談してください。

＊ すべての製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに

このたびは、コルグSOUND on SOUND UNLIMITED TRACK RECORDERをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
本機はメモリー・カードを使った、ミュージシャン向けのポータブル・レコーダーです。
内蔵マイクを使った録音のほかに、ギター専用入力端子を使ったギターからの直接録音、外部オーディオ機器のライン録音、外部マイク端子からのマイク録音が手軽にできます。
録音オーディオ・フォーマットは、WAV(44.1kHz、16bit)です。
さらに本機では、オーディオ・ファイルを再生しながら、入力信号をミックスして録音する多重録音を何回でも行うことができます。
この機能により、本機をシンプルなマルチトラック・レコーダーのように使うことができます。

準備

電池を入れる、取り出す

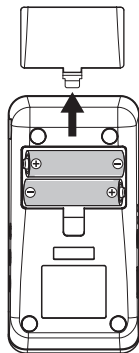
本機は単３形電池２本を使用します。アルカリ乾電池（LR6）、またはニッケル水素電池での使用をお薦めします。

新しい電池と1度使用した電池や、違う種類の電池を混ぜて使用しないでください。

1. 画面表示やLEDがすべて消えて、電源がオフになっていることを確認します。
2. バッテリー・カバーを取り外します。
3. 電池が入っている場合は取り出します。
4. +、−を間違えないようにして、単3形電池２本を入れます。
5. バッテリー・カバーを元のとおり取り付けます。

電池の残量が少なくなってきたら、早めに新しい電池と交換してください。

使えなくなった電池は、すぐに取り出してください。また、長期間使用しない場合は電池をはずしておいてください。

電池寿命は、使用状況や電池の品種によって変わります。また、メモリー・カードの品種や容量によっても変わります。

電池寿命（バックライト、LED：オフ時）

電池の種類	連続録音時間（内蔵マイク）/ 連続再生時間（ヘッドホン）
アルカリ乾電池 ×2	約10時間/約10時間
ニッケル水素電池（1900mAh）×2	約11時間/約11時間

電池の残量を正しく表示するため、使用する電池の種類に合わせて、メニュー・モードのMISCカテゴリのBATTERYページで設定をしてください（→ p.212）。

電池の残量が少なくなったときに、ACアダプター（別売）によって電源を供給することで、電源を切らずに操作を継続することができます。

付属の電池は動作確認用ですので、寿命が短い場合があります。

メモリー・カードを入れる、取り出す

1. 画面表示、LEDがすべて消えて、電源がオフになっていることを確認します。
2. カチッと音がするまで、メモリー・カードを奥に差し込みます(→ p.177)。
3. メモリー・カードを取り出すときはカチッと音がするまでメモリー・カードを押し込み、指を離します。
4. メモリー・カードが手前に出てきたら、取り出します。

メモリー・カードの取り扱いについては、メモリー・カードに付属の取扱説明書をよくお読みください。

メモリー・カードは挿入方向や表裏に注意し、確実に奥まで差し込んでください。また、無理な挿入はしないでください。

本体の電源を入れたまま、メモリー・カードの抜き差しをしないでください。本体やメモリー・カードのデータが失われる、またはメモリー・カードが使えなくなる可能性があります。

本機で使えるメモリー・カード

本機が使用できるメモリー・カードはmicroSDカードとmicroSDHCカードです。

メモリー・カードの初期化について

コンピュータ、携帯電話やデジタル・カメラなどで使用していたメモリー・カードを、そのまま本機で使用することはできません。これらのメモリー・カードを使う場合は、初期化(フォーマット)をする必要があります。
メモリー・カードのフォーマットについては、205ページ “FORMAT” をご覧ください。

録音時間について

1GBあたり約100分
録音1分当たり約10MB使用

note 録音時間は目安です。カード内のソング数が増えると、最大録音時間が多少短くなります。

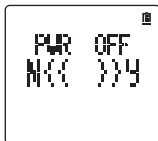
note 上記の最大録音時間は、新規ソングで初回録音の場合の時間です。多重録音を行った場合は、実際に録音を行った時間の合計が最大録音時間になります。

note 1ソングあたりの最大時間は6時間です。

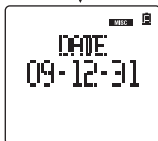
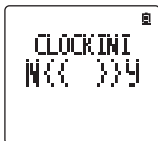
電源を入れる、切る

⚠ 他の機器と接続するときは、誤動作やスピーカーなどの破損を防ぐため、必ず音量最小で電源を切って接続してください。

1. 電源を入れるときは、ディスプレイに表示がでるまで、電源ボタンを押し続けます。
2. 電源を切るときは、再生/録音が停止していることを確認して、ディスプレイにPWR OFFダイアログが表示されるまで、電源ボタンを押し続けます。
3. ▶▶ボタンを押すと電源が切れます。電源を切るのをやめるときは、◀◀ボタンを押してください。

⚠ 必ず上記手順で電源を切ってください。

日付と時刻を設定する

録音を開始する前に、本機の内蔵時計の設定をしてください。ここで設定した日時は、録音したソングの情報として使用します。

1. 初期状態で電源を入れると画面に“CLOCKINI”と表示されます。
2. ▶▶ボタンを押します。
   年の項目が点滅します。
3. +、−ボタンを押して設定します。
   表示されるのは、西暦の下2桁です。
   上の桁は“20XX”に固定されています。
4. 年の設定が終わったら、▶▶ボタンを押します。
   月の項目が点滅します。
5. +、−ボタンを押して設定します。
6. 同様に、▶▶ボタンを押して、項目を移動、+、−ボタンを押して、日、時、分、秒の値を設定します。
7. ▶ボタンを押して、設定を確定します。
   設定をキャンセルするときは、停止ボタンを押します。

日時の再設定は、メニュー･モードのMISCカテゴリのDATEページで行います(→ p.211)。

note 電池を入れてない場合や、電池が入っていても電池容量がゼロの状態がしばらく(約3日)続くと、内蔵時計の設定が初期状態に戻ります。

各部の名称

接続端子

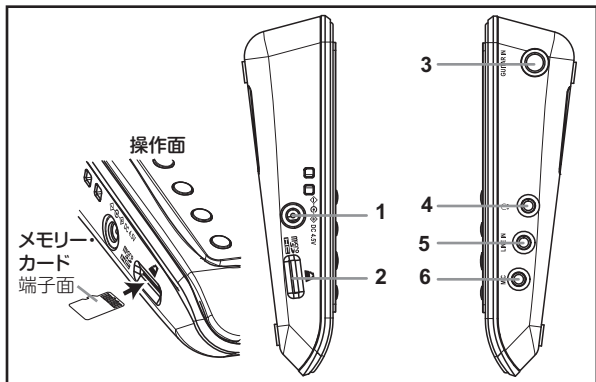
1. ACアダプター端子
   ACアダプターを使用するときは、必ず本機指定のものをお使いください。

2. メモリー・カード・スロット
   175ページ“メモリー・カードを入れる、取り出す” をご覧ください。

3. GUITAR IN端子（標準フォーン・タイプ）
   ギターやベースを直接接続できる、ハイ・インピーダンスの入力端子です。

4. ヘッドホン端子（ステレオ・ミニ・タイプ）
   ステレオ・ヘッドホンまたは、外部オーディオ機器（アンプなど）を接続するときに使用する出力端子です。
   この端子に機器を接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

5. LINE端子（ステレオ・ミニ・タイプ）
   アナログ音声用の入力端子です。各種オーディオ機器のアナログ出力を接続します。

6. MIC端子（ステレオ・ミニ・タイプ）
   外部マイクを接続します。プラグイン・パワー対応の小型コンデンサー・マイクを使用することもできます（198ページ“P•IN•PWR” 参照）。

操作面

1. ディスプレイ
各種設定を表示します。また、下部の領域が枠付き表示のときは入力用として使用でき、指でタッチしたまま左右にスライドさせることで、パラメーターや値を変更することができます(→ p.180)。

2. コントローラー・ボタン
◀◀ボタン、▶▶ボタン、▶ボタン、＋ボタン、－ボタンで録音/再生のコントロールや、メニュー・モードでの各種設定を行います。

3. MENUボタン
メニュー・モードに移動し各種設定を行います(→ p.193)。
また、MENUボタンを押しながら停止ボタンを押すと、ホールド状態になり、操作を受け付けなくなります。
ホールド状態を解除するときは、再度MENUボタンを押しながら停止ボタンを押します。

4. FXボタン、エフェクトLED
短く押すと、エフェクトのオン(LED点灯)、オフ(LED消灯)を切り替えます。
長く押すと、エフェクト設定ページに移動します(→ p.190)。

5. A/B LOOPボタン、ループLED、A/B SETボタン
ループ再生/録音の設定をします(→ p.187)

6. 停止ボタン
録音/再生の停止や、設定のキャンセルなどに使用します。

7. 録音ボタン(SOUND ON SOUND)、録音LED
録音ボタンを押すと、録音LEDが点滅して録音待機になります。録音待機時に再度録音ボタンを押すと、録音を開始します。このとき録音LEDは点灯になります。

8. クリップLED L、R
クリップ時は赤く点灯します。

9. 内蔵マイク(ステレオ)

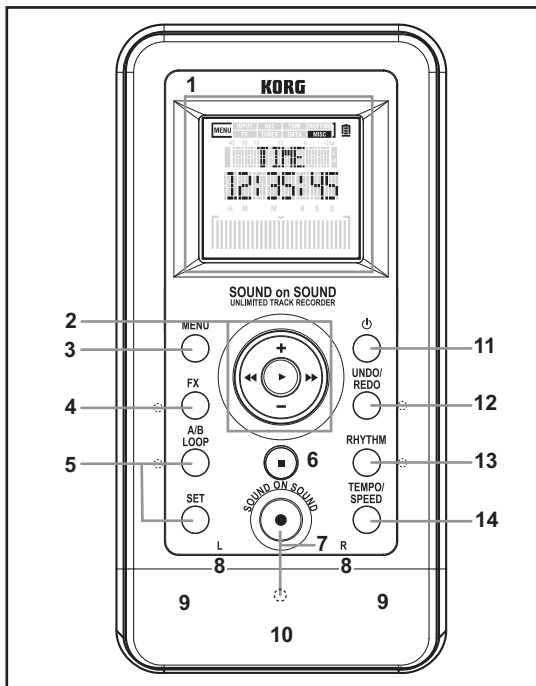
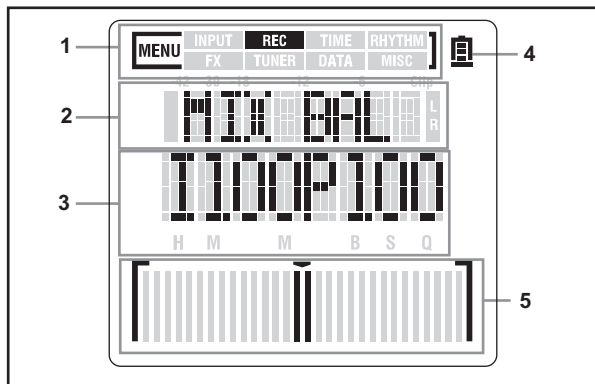
10. スピーカー
ヘッドホン端子に接続しているときは音が出ません。また、ハウリングを防ぐため、内蔵マイク、外部マイクでの録音中、入力レベル設定時、チューナー動作時や、録音待機時には音が出ません。

11. 電源ボタン(→ p.176)

12. UNDOボタン(→ p.189)

13. RHYTHMボタン、リズムLED
短く押すと、リズム・マシンのオン(LED点灯)、オフ(LED消灯)を切り替えます。
長く押すと、リズム・マシン設定ページに移動します(→ p.191)。

14. TEMPOボタン

短く押すと、テンポ表示をします。タップ·テンポの設定もできます。
長く押すと、テンポ設定ページに移動します(→ p.191)。

ディスプレイ

1. メニュー・モード・アイコン

メニュー・モード時の、カテゴリ・アイコンです。
カテゴリ間の移動は、MENUボタンを押しながら◀◀、▶▶、+、−ボタンで移動します。各カテゴリ内のページは◀◀、▶▶ボタンで移動します。
パラメーターや値は+、−ボタンで設定します。

INPUT	入力レベル、トーン、プラグイン・パワーなど、入力に関する設定（→ p.197）
REC	録音開始設定やアンドゥなど、録音に関する設定（→ p.198）
TIME	時間表示モード設定やテンポなど、時間に関する設定（→ p.200）
RHYTHM	リズム・タイプの選択やドラムキット選択など、リズムに関する設定（→ p.202）
FX	エフェクト・タイプの選択やパラメーターなど、エフェクトに関する設定（→ p.203）
TUNER	チューナーの動作（→ p.192）
DATA	ソング・デリートやフォーマットなど、データ操作に関する設定（→ p.205）
MISC	ディスプレイのバックライトや LED 点灯などその他の機能設定（→ p.211）

2. ソング番号/レベル・メーター/ページ名

停止時	ソング番号の表示
再生時	再生音のレベル・メーターを表示
録音/録音待機時	入力音のレベル・メーターを表示
メニュー・モード表示時	各カテゴリでのページ名を表示

3. カウンター/パラメーター

録音/再生時	現在の再生位置を表示	
	HMS	現在位置を、時、分、秒で表示
	MBQ	現在位置を、小節、拍、1/4拍で表示
メニュー・モード表示時	各ページでのパラメーターや値を表示	

4. バッテリー・アイコン

電池の残量を表示します。

残量大 ▮ > ▮ > ▯ 残量小

▯が点滅しているときは、残量がほとんどありません。すぐに電池を交換してください。

note ACアダプター(別売)使用時は、電池の残量を表示しません。

5. ソング・ポジション・バー/チューニング・メーター/タッチ・スライダー

再生時	ソング・ポジション・バー 現在の再生位置をバー表示します。タッチ・スライダーとして、再生位置を変更することもできます。
チューナー動作時	チューニング・メーター 現在のチューニング状態を表示します。 チューニングが正しいとき、中心で止まります。
エフェクト選択ページ	タッチ・スライダー タッチすることで、エフェクトのパラメーター値を調整することができます。
リズム選択ページ	タッチ・スライダー タッチすることで、バリエーションを選ぶことができます。
その他のパラメーター	タッチ・スライダー 外枠が表示されているときは、タッチすることで、値の設定ができます。

操作編

録音/再生

録音をする前に、必要に応じて下記の設定を行うこともできます。

・ 入力音に本機のエフェクトを加える場合(→ p.190)。
・ リズム・マシンを使用する場合(→ p.191)。
・ タイム・モードをMBQ(小節単位)で録音する場合(→ p.200)。

入力を選ぶ

ここでは、GUITAR IN端子にエレキ・ギターを接続して入力する例を説明します。

1. エレキ・ギターをGUITAR IN端子に接続します。
   このときにLINE端子、MIC端子には何も接続しないでください。

   入力選択について
   本機はGUITAR IN端子、LINE端子、MIC端子それぞれに接続されていることを自動検出し、検出した端子を自動的に入力に割り当てます。入力に使用したい端子以外には、何も接続しないようにしてください。なお、複数の入力端子に機器が接続されているときは、以下の優先順位になります。

   入力端子に何も接続していない場合は、内蔵マイク入力になります。

接続機器	自動選択される入力
ギター、ライン、マイク	GUITAR IN端子
ギター、マイク	GUITAR IN端子
ライン、マイク	LINE端子
マイク	MIC端子
なし	内蔵マイク

プラグイン・パワーのマイクを使うには、設定が必要です(→ p.198)。

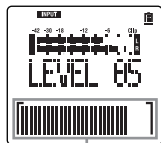
タッチ・スライダー

2. 録音ボタンを押して、録音待機状態にします。このとき録音LEDが点滅します。
3. +、−ボタンを押して、入力レベルを調整します。このとき、表示されているタッチ・スライダーで、調整することもできます。
   大きな音を入力したときに、クリップLEDが点灯しない範囲で、ディスプレイのレベル・メーターで“−6”付近を保持するように調整します。

レベル・メーター

-42 -30 -18 -12 -6 Clip

00:00:00

H M S

⚠ レベル・コントロールが“AUTO”に設定されているときは、入力レベルの調整をすることができません(197ページ“LVL CTRL”参照)。

4. 停止ボタンを押して、録音待機状態を解除してください。このとき録音LEDが消灯します。

新規ソング録音

本機では、録音したデータをソングと呼びます。ソングを録音するには、はじめに録音するための新規ソングを作ります。

1. 以下の3種類の方法で新規ソングを作ります。
   - カード・フォーマット後、一度も録音していないときや、すべてのソングを削除(→ p.205)したとき(ディスプレイのソング表示がNEW/001)は、録音ボタンを押します。
   - すでに録音しているソングがあるとき(ディスプレイのソング表示が002/003など)は、▶▶ボタンを押して、最後の未録ソング(この場合はNEW)に移動してから録音ボタンを押します。
   - すでに録音しているソングが多数あって、すぐに録音したい場合(ディスプレイのソング番号が002/025など)は、停止ボタンを押しながら録音ボタンを押します。

   ⚠ 録音ボタンを押したとき、録音LEDが速く点滅(1秒に2回程度)しているときは新規ソングの録音待機状態です。
   録音LEDがゆっくり点滅(1秒間に1回程度)しているときは、新規ソングになっていません(185ページ“多重録音をする(サウンド・オン・サウンド)” 参照)ので、もう一度やり直してください。

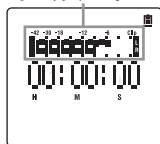
2. 録音を開始します。
   録音待機の状態(録音LEDが点滅)で、再度録音ボタンを押して録音を開始します。このとき録音LEDが、点灯に変わります。

   note 音を入力したタイミングで、録音を開始することもできます(198ページ“AT START” 参照)。

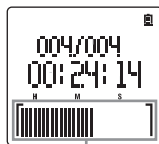
3. 録音を一時停止するときは、停止ボタンを押します。
   録音LEDが点滅に変わります。

4. 録音を再開するときは、録音ボタンを押し(録音LEDが点灯)、録音を終了するときは、再度停止ボタンを押します(録音LEDが消灯)。

再生

ソング・
ポジション・バー

1. ソングの先頭に移動します。
   ◀◀ボタンを短く押して、今録音したソングの先頭に移動します。
   ◀◀や▶▶ボタンを押してソングを選び直したときは、自動的にソングの先頭に戻ります。
2. 録音したソングを再生します。
   ▶ボタンを押して、録音したソングを再生します。
3. 一時停止するときは、▶ボタンを押します。
4. 再生を再開するときは、再度▶ボタンを押します。
5. 再生を終了してソングの先頭に戻るときは、停止ボタンを押します。

タッチ・スライダー

再生音の音量は、+、−ボタンを押して調整します。このとき、表示されているタッチ・スライダーで、調整することもできます。

ソング再生位置の移動

ソングの再生位置を移動するには、以下の方法があります。なお、これらは再生画面でのみ有効な操作です。

早送り	▶▶ボタンを押している間は早送り
早戻し	◀◀ボタンを押している間は早戻し
ソングの先頭への移動	◀◀ボタンを短く押すと、現在のソングの先頭に移動 ソングの先頭で◀◀ボタンを短く押すと、前のソングの先頭に移動
次のソングの先頭への移動	▶▶ボタンを短く押すと、次のソングの先頭に移動
現在のソングの特定位置へ移動	停止ボタンを押しながら◀◀、または▶▶ボタンを押すと、現在のソングの位置から近い順に、ソングの先頭、Aポイント、Bポイント、ソングの最後に移動
タイム・モードがHMS 時:分:秒の指定	1. 停止中に、停止ボタンを押しながら▶ボタンを押します。カウンターが点滅します。 2. +、−ボタンで時刻を直接指定します。 3. ◀◀、▶▶ボタンで、時、分、秒を移動します。 4. 時刻指定後、▶ボタンを押すと設定が完了します。

タイム・モードがMBQ 小節:ビート:クロックの指定	1. 停止中に、停止ボタンを押しながら▶ボタン押します。カウンターが点滅します。 2. +、−ボタンで小節単位を直接指定します。 3. ◀◀、▶▶ボタンで、小節、拍、1/4拍を移動します。 4. 指定後、▶ボタンを押すと設定が完了します。
大まかな早戻し/早送り	ディスプレイ下部のソング・ポジション・バーをタッチして、ソングの再生位置を直接移動

多重録音をする(サウンド・オン・サウンド)

本機は録音済みのソングに、手軽に多重録音することができます。
多重録音すると、録音した内容そのものの素材ファイルと、再生音と録音をミックスした2ミックス・ファイルが生成されます。
この素材ファイルと2ミックス・ファイルを合わせて本機の1つのソングとして認識されます(207ページ"FINALIZE" 参照)。

多重録音したソングを、コンピュータにコピーして"KORG AUDIO UTILITY"(コルグ・ホームページからダウンロード)を使用することによって、簡単にオーディオCDを作成することができます。

また、多重録音したソングをファイナライズすることで、各素材ファイルと多重録音ファイルのWAVを作成できます。これにより、コンピュータの波形編集ソフトで編集したり、DAWの各トラックにロードすることもできます(207ページ"FINALIZE" 参照)。

多重録音時のメモリー・カードの消費容量について
本機は多重録音を重ねても、元の録音素材ファイルを保存しています(→ p.215)。多重録音を多く行うことが予想される場合は、容量の大きなメモリー・カードをご使用ください。
たとえば、初回録音を3分録音して、3分の多重録音を3回行った場合、それぞれファイル・サイズが約30MB、30MB、30MB、30MBとなり、合計約120MBを消費します。

多重録音手順

1. ◀◀、▶▶ボタンを押して多重録音をするソングを選びます。
2. 途中から多重録音を開始する場合は、その位置に移動します(184ページ"ソング再生位置の移動" 参照)。
3. 録音ボタンを押して、録音待機状態にします。
   録音LEDがゆっくり点滅(1秒間に1回程度)します。
4. 必要に応じて+、−ボタンを押して、入力レベルを調整します。このとき、表示されているタッチ・スライダーで、調整することもできます。
5. 必要に応じて◀◀、▶▶ボタンを押して再生レベルと入力レベルのバランスを調整します(200ページ"MIX BAL" 参照)。

6. 再度録音ボタンを押します。
   再生が始まると共に録音状態になり、録音LEDが点灯に変わります。
7. 再生音に入力音をミックスした音が、メモリー・カードに記録されます。

   note 音を入力したタイミングで、録音を開始することもできます（198ページ"AT START" 参照）。

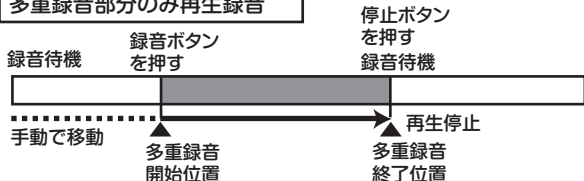
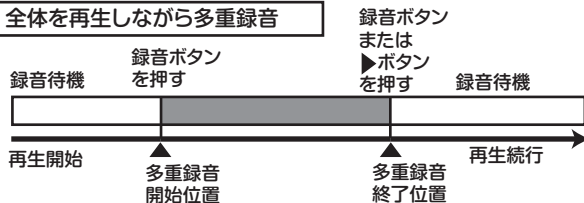
   note 再生しながら、任意の位置で多重録音を開始する場合は、録音待機状態のまま、▶ボタンを押し再生を開始して、録音開始位置で録音ボタンを押して録音状態にします。

8. 多重録音を一時停止するときは、停止ボタンを押します。録音LEDが点滅に変わります。

   note 録音ボタンや▶ボタンを押したときは、録音待機状態になりますが、再生は引き続き行われます。

9. 多重録音を再開するときは、録音ボタン（録音LEDが点灯）を、録音を終了するときは、停止ボタンを押します（録音LEDが消灯）。

note 1回目の録音終了位置より長く録音した場合、その長さがソングの長さになります。

以上で多重録音の操作は、完了です。続けて多重録音をするときは、手順2から9を繰り返します。

再生、録音に便利な機能

再生速度の調節(サウンド・ストレッチ機能)

コピーしようとするギターのフレーズを遅くしたい、難しいフレーズをゆっくり弾いて録音したいときには、サウンド・ストレッチ機能が最適です。音程を変えずに、25%から150%の範囲で再生速度を変えることができます。
設定は、メニュー・モードの201ページ“SPEED” で行います。

多重録音時に再生速度の調整は、遅くする場合(25%~99%)のみ有効です。

再生/録音開始設定

オート・スタート

録音ボタンを押してから、録音開始のタイミングを入力レベルで設定します。
設定はメニュー・モードの198ページ“AT START” で行います。

カウント・イン

多重録音を開始するときの、再生開始時刻を設定します。
設定はメニュー・モードの199ページ“COUNT IN” で行います。

カウンター表示設定の200ページ“MODE” により、パラメーターが変化します。

ここでの設定は、停止状態からの録音開始で、なおかつ198ページ“AT START” がOFFのときのみ有効です。

ループ再生/録音

A/Bループを使うと、ある一定区間を繰り返し再生/録音することができます。

繰り返し再生する(A/Bループ再生)

1. ループを開始したい位置(Aポイント)に移動して、A/B SETボタンを押します。
   Aポイントが設定され、ループLEDが点滅します。

   note カウンター表示がMBQのときは、指定された位置の直前の小節の頭に自動的に設定されます。

2. ループを終了したい位置(Bポイント)に移動して、A/B SETボタンを押します。
   Bポイントが設定され、ループLEDが点灯に変わります。

   note カウンター表示がMBQのときは、指定された位置の直後の小節の頭に自動的に設定されます。

   設定をやり直すときは、もう一度A/B SETボタンを押すとループLEDが消灯し、設定されたA/Bポイントが消去されます。

   また、A/B SET ボタンを長く押して、“A POINT” 、“B POINT” ページに移動して設定することもできます(→ p.201)。

3. A/B LOOPボタンを押して、A/Bループをオンにします。
   ループLEDが点灯します。

4. 再生を開始すると再生位置がBポイントに到達すると、自動的にAポイントに戻って、A/B間の再生を繰り返します。

5. 再度A/B LOOPボタンを押すと、A/B LOOPがオフになります。
   ループLEDが消灯します。

⚠ BポイントがAポイントより前の時刻に設定された場合、AポイントとBポイントの時刻が入れ替わります。

⚠ AポイントとBポイントの間隔は、2 秒より長い時間が必要です。Aポイントから2 秒以内に、Bポイントを設定することはできません。

繰り返し録音する(A/Bループ録音)

ループ再生中に録音ボタンを押して、録音をすることができます。

1. 繰り返し再生する(A/Bループ再生)を参照して、ループ再生をします。

2. 録音ボタンを押して、録音待機状態にします。
   録音LEDが遅い点滅になります。

3. 再度録音ボタンを押して、録音状態にします。
   このとき実際には録音は開始されず、Bポイントに到達してAポイントに戻った時点で、録音開始になります。
   録音LEDは、Bポイントに到達するまでは遅い点滅になり、Aポイントに戻った時点で点灯になります。

4. Bポイントに到達した時点で録音待機状態にかわり、A/Bループ再生になります。
   録音LEDが点滅になります。

再度多重録音をしたいときは、再度録音ボタンを押してループ録音を繰り返してください。

⚠ AポイントとBポイントの間隔が、8秒より短い場合は録音終了時に再生を一旦停止します。その後、録音された音声で自動的にループ再生になります。

録音を取り消す(アンドゥ/リドゥ)

演奏を録音する際、思ったように録音できないときは、アンドゥを使って録音操作を取り消すことができます。
アンドゥ操作を取り消すときは、リドゥを使います。
アンドゥ/リドゥ操作は、アンドゥ回数の設定によって異なります(199ページ"UNDOTIME" 参照)。
初期設定のアンドゥの回数は1回です。

アンドゥ回数の設定が1回のとき(1TIME)

1. 録音後UNDOボタンを押します。
2. 直前の録音が取り消され、録音前の状態に戻ります。
   このとき、アンドゥLEDが点灯します。

   この状態で録音をすると、リドゥのデータは失われ、アンドゥLEDが消灯します。

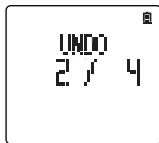
3. アンドゥLEDの点灯時、再度UNDOボタンを押すとアンドゥが取り消され、アンドゥ実行前の状態に戻ります(リドゥ)。

アンドゥ回数の設定が、複数回のとき(10TIMES、INFINITY)

1. 録音後、UNDOボタンを押しながら、◀◀ボタンを押します。
2. ◀◀ボタンを押した回数だけ、録音を戻すことができます。
   アンドゥLEDが点灯します。
   このとき、UNDOボタンを押している間、アンドゥの階層がディスプレイに表示されます。

   この状態で録音をすると、リドゥのデータは失われ、アンドゥLEDが消灯します。

3. LED点灯時、UNDOボタンを押しながら▶▶ボタンを押すと、押した回数だけ、リドゥすることができます。

アンドゥ/リドゥできる回数は、設定した回数までです。

そのほかの機能

エフェクトを使う

本機には、コルグ独自のモデリング・テクノロジー“REMS”によるアンプ・モデリングなど、高品位なエフェクトが100タイプ内蔵されています。このエフェクトは、入力音、録音済のソングの両方にかけることができます(203ページ“FX” 参照)。

入力する楽器の種類や音の大きさ、また選択したエフェクト・タイプによっては、音が歪んだりノイズが混じることがあります。

REMSとは?

REMS(Resonant structure and Electronic circuit Modeling System)は、生楽器や電気/電子楽器の発音メカニズム、発音された音がボディー/キャビネットで共鳴するメカニズム、その音が出ているフィールドの空気感、音の伝達経路としてマイク、スピーカーなどの電気/音響的特性、真空管、トランジスターなどの電気回路による音の変化など、音色に関わる様々な要因を緻密にデジタルで再現したコルグ独自のモデリング・テクノロジーです。

エフェクトのオン、オフ

1. FXボタンを押して、エフェクトをオンにします。オンのとき、エフェクトLEDが点灯します。
2. もう一度押すと、エフェクトLEDが消灯してエフェクトがオフになります。

エフェクト・タイプの選択とパラメーターの設定

1. FXボタンを長押しして、エフェクト選択ページ(TYPE)に移動します。
2. +、−ボタンを押して、エフェクト・タイプを選択します。
3. このときタッチ・スライダーで、FX EDIT 1ページのパラメーターの値を、変更することができます。

   note パラメーターは、エフェクトにより異なります。

4. ▶▶ボタンを押してFX EDIT 1、FX EDIT 2ページに移動すると、選択しているエフェクト・タイプで有効なパラメーターが表示されます。
5. +、−ボタン(またはタッチ・スライダー)で、パラメーターの値を変更します。これはFX EDIT 1ページでは、手順3と同等の操作になります。

タッチ・スライダー

FX EDIT 1

タッチ・スライダー

6. 同様に必要に応じて▶▶ボタンを押して、エフェクト挿入場所（203ページ“POSITION”）に移動して設定を行います。

ここでの設定はソングごとに保存することができ、保存したエフェクトの設定はFXボタンを押すことでオン、オフできます。

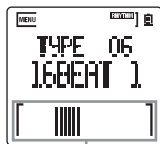
リズム・マシンを使う

本機には、50個のタイプを持つリズム・マシンが内蔵されています。
楽器演奏を録音するときのガイドに使用したり、ディスプレイ下部の領域（タッチ・スライダー）を使って積極的に演奏することができます。

リズム・マシンのオン、オフ

1. RHYTHMボタンを押して、リズム・マシンをオンにします。
   オンのとき、リズムLEDが点灯します。
2. もう一度押すと、リズムLEDが消灯してリズム・マシンがオフになります。

リズム・タイプの選択と設定

1. RHYTHMボタンを長押しして、リズム選択ページ（TYPE）に移動します。
2. ＋、－ボタンを押して、リズムを選択します。
3. タッチ・スライダーで現在のリズムのバリエーションを変更することができます。
   左に行くほどシンプルで、右に行くほど複雑になります。
4. 必要に応じて◀◀、▶▶ボタンを押してスイング設定（202ページ“SWING”）や、リズム録音設定（202ページ“REC”）に移動して設定を行います。

タッチ・スライダー

リズム・マシンのテンポの設定

1. TEMPOボタンを長押しして、テンポ設定ページ（TEMPO）に移動します。
2. ＋、－ボタンを押して（またはタッチ・スライダーで）、リズム・マシンのテンポを変更することができます。またTEMPOボタンを複数回押すと、タップ・テンポとして動作します。

ここで設定したテンポは、ソング全体のテンポになります。

タッチ・スライダー

チューナーを使う

本機は、チューナーを内蔵しています。
画面上のチューニング・メーターを見ながら、入力端子に接続した楽器の、正確なチューニングができます。

チューニング手順

1. MENUボタンを押して、メニュー・モードに入ります。
2. MENUボタンを押しながら▶▶ボタンを何度か押して、カテゴリ・アイコン“TUNER”を表示させます。
3. 必要に応じてキャリブレーション（基準ピッチ）を変更するときは、▶▶ボタンを何度か押して、キャリブレーション・ページ（CALIB）を表示し、＋、－ボタンを押して設定します（初期設定：440Hz）。

タッチ・スライダー

4. 楽器に合わせて◀◀、▶▶ボタンを何度か押して、ページを切り替えます。
   ギターはGUITAR、ベースはBASS、そのほかはCHROMページを選択します。

5. 楽器を単音で鳴らします。
   認識した音に一番近い音名が表示されます。
   ギターとベースの場合は、チューニングをする弦に合わせて＋、－ボタンで弦番号の表示を切り替えます。
6. 楽器を単音で鳴らして、メーターの中央に矢印とバーが表示されるようにチューニングをします。
   チューニングが低すぎる場合は左側、高すぎる場合には右側にバーが表示されます。

チューナー動作を止めるときは、MENUボタンを押してメニュー・モードから出るか、MENUボタンを押しながら◀◀、▶▶ボタンを何度か押して、他のカテゴリに移動します。

メニュー・モード

MENUボタンを押して、メニュー・モードに入ります。このモードでカテゴリの選択、パラメーターの選択、値の設定や機能の実行などを行うことができます。

メニュー・モードでの基本操作

カテゴリの選択	MENUボタンを押しながら、◀◀、▶▶、+、−ボタン
パラメーターの選択	◀◀、▶▶ボタン
値の設定	+、−ボタン ディスプレイ下部に枠付きのバー表示があるときは領域をタッチしたまま左右にスライド(タッチ・スライダー)でも可能

カテゴリ、ページ、パラメーター一覧表

- パラメーター/範囲欄の下線は初期値
- M(設定保存場所)欄のBは本体内共通、Sは各ソング
- PR(変更確認の可否)欄のPは再生/録音待機時の変更、確認可能、pは再生/録音待機時確認のみ、Rは録音時の変更確認可能、rは録音時確認のみ

カテゴリ				
ページ	**パラメーター/範囲**	**M**	**説明**	**PR**
INPUT				
LVL CTRL	<u>MANUAL</u>、AUTO	B	入力レベルのコントロール	PR
LEVEL	0～<u>60</u>～100	B	入力レベル	PR
LOW CUT	<u>OFF</u>、ON	B	低域カットのオン、オフ	PR
TONE	LOW10～<u>OFF</u>～HI10	B	入力音のトーン調整	PR
N･GATE	<u>OFF</u>、ON	B	ノイズ･ゲート機能のオン、オフ	PR
MIC GAIN	LOW、<u>MID</u>、HIGH	B	マイク入力感度調整	PR
P･IN･PWR	<u>OFF</u>、ON	B	プラグイン･パワー設定	PR

REC				
AT･START	OFF、INPUT L、INPUT H、200ms	B	録音開始動作	P
COUNT IN	HMS:OFF、1～10SEC MBQ:OFF、1MEAS、2MEAS	B	多重録音時の再生音開始時刻	P
UNDOTIME	1TIME、10TIMES、INFINITY	B	アンドゥができる回数	P
UNDODATA	DELETE、KEEP	B	アンドゥの履歴から削除したファイルの扱い	P
MIX BAL	I100P000～I100P100～I000P100	B	入力音と再生音のミックス･バランス	PR
TIME				
MODE	HMS、MBQ	S	ソングのタイム･モード	PR
TEMPO	30～120～240	S	ソングのテンポ	pr
BEAT	4/4、3/4、6/8	S	ソングの拍子	pr
SPEED	25%～ORIGINAL～150%	---	ソングの再生スピード設定	P
A POINT	---	S	A/BループのAポイント時刻	pr
B POINT	---	S	A/BループのBポイント時刻	pr

RHYTHM				
TYPE	01～50	S	リズム･マシンのタイプ選択	PR
SWING	00～25、PRESET	S	リズム･マシンのスイング設定	PR
REC	OFF、ON	S	リズム･マシンの非録音/録音	P
FX				
TYPE	01～100	S	エフェクト･タイプ選択	PR
FX EDIT 1	TYPEごとに異なる	S	エフェクト･パラメーター1の値設定	PR
FX EDIT 2	TYPEごとに異なる	S	エフェクト･パラメーター2の値設定	PR
POSITION	INPUT、REC DRY、PLAY TRK、MASTER、RHYTHM	S	エフェクトのポジション設定 エフェクトがかかるソースを選択	P
TUNER				
CHROM	---	---	クロマチック･チューナー	---
GUITAR	---	---	ギター･チューナー	---
BASS	---	---	ベース･チューナー	---
CALIB	435～440～445	B	キャリブレーション(基準ピッチ)	---
DATA				
DELETE	---、CURRENT、ALL	---	ソングの削除	---
FORMAT	---、EXECUTE	---	カードのフォーマット	---
CARDINFO	Uxxx、Fxxx	---	カードの残り容量表示	pr
IMPORT	---、EXECUTE	---	インポートの実行	---
FINALIZE	---、MATERIAL、2MIX、BOTH	---	ファイナライズの実行	---
CARDTEST	---、EXECUTE	---	カードのテスト	---
UPDATE	---、EXECUTE	---	システム･アップデート	---

MISC				
VOLUME	0～60～100	B	再生音の音量	PR
DATE	---	B	月日設定	PR
TIME	---	B	時間設定	---
B·LIGHT	OFF、ON、 10SEC、 20SEC、 30SEC	B	LCDバックライトの点灯。	PR
LED	OFF、ON、 B·LIGHT	B	LEDの点灯	PR
BATTERY	ALKALINE、 NI-MH	B	使用する電池の種類設定	PR
PEAKHOLD	0SEC、2SEC、 INFINITY	B	レベル·メーターの ピーク·ホールド時間	PR
A·PW·OFF	OFF、3MIN、 5MIN、10MIN、 30MIN	B	無操作時に自動で電源が切れるまでの時間	---
T·CALIB	---、EXECUTE	B	ディスプレイ下部のタッチ領域のキャリブレーション	---
F·RESET	---、EXECUTE	---	工場出荷時設定にリセット	---

カテゴリ、ページ、パラメーター解説

INPUT

入力音に関する設定をします

LVL CTRL

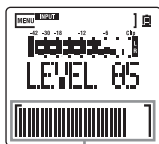
MANUAL:
入力レベルを手動で設定します。

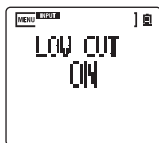
AUTO:
入力レベルを自動で設定します。
入力される音が小さいときは大きく増幅し、大きい場合は、レベルを抑えつつ、音全体をなるべく均一なレベルにします。またこのとき、過大な入力が入ったときには、入力レベルを適度なレベルまで圧縮するリミッター機能が動作します。

LEVEL

タッチ・スライダー

LEVEL CTRLが“MANUAL”のときの入力レベル調整を行います。録音待機時の＋、－ボタンでも設定できます。
入力音を確認しながら、クリップ・インジケーターが点灯しない範囲で、最大になるように調整してください(60＝0dB)。

LVL CTRLが“AUTO”のときは、LEVELを設定することはできません。

LOW CUT

ブレス・ノイズ(声の録音時に息が吹き込む音)が大きいときや、野外の風の音が気になる場合は、“ON”(低音域をカット)に設定します。

TONE

入力音の音色調整をします。

LOW 1～10:

数値が高いほど低域を増強します。

OFF:音色調整を行いません。

HIGH 1～10:

数値が高いほど高域を増強します。

タッチ・スライダー

N･GATE

“ON” にするとノイズ･ゲートが有効になり、微少レベルの音をカットします。

LVL CTRL が “AUTO”のときのみ有効になります。

MIC GAIN

LOW:バンド演奏など大きい音の入力用です。

MID:LOWとHIGHの中間に設定されます。

HIGH:会議録音など小さい音の入力用です。

MIC GAINの設定は、内蔵マイクとMIC入力時に有効です。LINE、GUITAR IN入力時は無効になります。

P･IN･PWR

MIC端子に電源を供給します。プラグイン･パワーを “ON” に設定する場合は、プラグイン･パワー対応のコンデンサー･マイクを接続してください。それ以外の機器(ダイナミック･マイクや電池内蔵マイクなど)を接続すると、その機器が破損する恐れがあります。

REC

録音に関する設定をします。

AT START

録音ボタンを押してから、録音を開始するタイミングを設定します。入力レベルで録音開始の設定をすることもできます。

OFF:
録音ボタンを押したらすぐに、録音を開始します。

INPUT L:
録音ボタンを押してから、入力音のレベルが約－18dBを超えたときに、録音を開始します。録音開始の１秒前からの入力音が記録されます。

INPUT H:
録音ボタンを押してから、入力音のレベルが約－6dBを超えたときに、録音を開始します。録音開始の１秒前からの入力音が記録されます。

200ms:
録音ボタンを押してから、約200ms後に録音を開始します。録音ボタンを押したときの、音が気になるときに使用します。

COUNT IN

TIMEカテゴリのMODEページの設定により、パラメーターが変化します(→ p.200)。

ここでの設定は、AT STARTの設定が“OFF”で、停止状態からの録音スタートのときのみ有効です。

MODE設定がHMS

OFF:
録音開始時刻が、再生開始時刻になります。

1〜10SEC:
録音開始時刻から、設定された時間だけ前が再生開始時刻になります。

MODE設定がMBQ

OFF:録音開始位置が、再生開始位置になります。

1MEAS:現在の時刻の１小節前から、再生が開始されます。

2MEAS:現在の時刻の２小節前から、再生が開始されます。

UNDOTIME

アンドゥの回数を増やすと、メモリー・カードの容量を多く消費します(189ページ“録音を取り消す(アンドゥ/リドゥ)”参照)。

1TIME、10TIMES:
1回、または10回までアンドゥ/リドゥを行います。

INFINITY:
メモリー・カードの残り容量が許す限り、アンドゥ/リドゥを行います。

UNDODATA

DELETE:
アンドゥの履歴から削除したファイルを消去します。

KEEP:
アンドゥの履歴から消えたファイルを保存します。アンドゥで戻ってから録音したときなど、本機からアクセスできないデータも保存することができます。

MIX BAL

ここで設定したミックス・バランスで、多重録音されます。

I100P000:
入力音のみ聞こえ、再生音は聞こえなくなります。

I100P100:
入力音と再生音のバランスが、同等になります。

I000P100:
再生音のみ聞こえ、入力音は聞こえなくなります。

⚠ 新規ソングの初回録音時は、ここでの設定は録音には反映されません。また、録音に反映されるのは入力音を下げたときのみです。再生音を下げたときには、録音には反映されません。

TIME

カウンター表示やループ位置設定などを行います。

MODE

カウンター表示の単位を切り替えます。

HMS:
時、分、秒(**H**our、**M**in、**S**ec)の単位で表示します。

MBQ:
小節、拍、1/4拍(**M**easure、**B**eat、**Q**uarterBeat)単位で表示されます。ソングを小節単位で管理する場合は、こちらを選びます。

TEMPO

MODE設定が“MBQ”のときのカウンター表示や、リズム・マシンのテンポは、ここでの設定により動作します(191ページ“リズム・マシンのテンポの設定” 参照)。

BEAT

ソングの拍子を設定します。

SPEED

タッチ・スライダー

ピッチを変えることなく、再生速度を変えることができます（サウンド・ストレッチ機能）。

25%：

元の速度の1/4の速度で再生します。

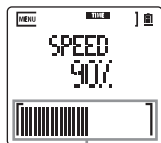
ORIGINAL：元の速度で再生します。

150%：

元の速度の、1.5倍の速度で再生します。

“ORIGINAL” 以外の設定で再生した場合、再生される音質が低下します。本来の音質で聴く場合は “ORIGINAL” に設定して再生してください。

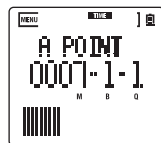
多重録音時に再生速度の調整は、遅くする場合（25%〜99%）のみ有効です。

“ORIGINAL” 以外の設定で多重録音したときは、録音終了後に再生データを再生成するための演算処理が実行されます。このため、次の操作が可能になるまでの時間が通常よりかかります。

A POINT
B POINT

ループ・ポイントA、Bを設定します（187ページ “ループ再生/録音” 参照）

1. 各ページを表示しているときに▶ボタンを押します。
   表示が点滅になりエディットできる状態になります。
2. ポイントの項目の移動は、▶▶ボタンを押します。
3. ポイントの値は＋、−ボタンで設定します。
4. ▶ボタンを押して、設定を確定します。
   設定をキャンセルするときは、停止ボタンを押します。

Bポイントが Aポイントより前の時刻に設定された場合、Aポイントと Bポイントの時刻が入れ替わります。

Aポイントと Bポイントの間隔は、2 秒より長い時間が必要です。Aポイントから 2 秒以内に、Bポイントを設定することはできません。

RHYTHM

リズム･マシンの各種設定を行います。

TYPE

+、−ボタンでタイプを選びます。
タッチ･スライダーを使って現在のタイプのバリエーションを変更することができます。
左に行くほどシンプルで、右に行くほど複雑になります。

タッチ･スライダー

SWING

スイングの設定をすると、リズム･マシンの演奏ステップの発音タイミングがずれます。これにより、ストレートな16ビートから、微妙にハネたシャッフルのスイング感まで表現することができます。
スイング値は0から25(%)で、偶数ステップの発音のタイミングを設定します。

0〜25:
0で完全な16ビートに、16でシャッフルになります。

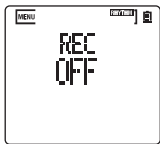
PRESET:
各リズム･タイプのプリセット値になります。

REC

OFF:
入力音のみ録音され、リズム･マシンの音は録音しません。

ON:
リズム･マシンの音のみ録音され、入力音は録音しません。

“ON” にすると、リズム･マシンの音のみが録音されます。内蔵マイクや接続機器の入力音は、録音されません。

“ON” のときには、MIX BALANCEパラメーターの入力音側の設定でリズム音の音量が調整できます。
“OFF” のときは、MIX BALANCEパラメーターの再生音側の設定でリズム･マシンの音の音量が調整できます。

FX

エフェクトの各種設定を行います。

TYPE

エフェクト・タイプを選択します。この画面のままタッチ・スライダーでFX EDIT 1のパラメーターの値の設定ができます(190ページ“エフェクト・タイプの選択とパラメーターの設定” 参照)。

タッチ・スライダー

FX EDIT 1
FX EDIT 2

TYPEで選択したプログラムの、パラメーターの値を設定します(190ページ“エフェクト・タイプの選択とパラメーターの設定” 参照)。
パラメーターは、選択しているプログラムにより異なります。

タッチ・スライダー

エフェクト・タイプにより、タッチ・スライダーに触れたときにのみ効果がかかるものがあります。

POSITION

エフェクトの挿入位置を設定します。

INPUT:

入力音にエフェクトがかかり、出力されます。録音ファイルにも、エフェクトのかかった音が録音されます。

REC DRY:

入力音にエフェクトがかかり、出力されます。録音ファイルには、エフェクトを通らない音(ドライ音)が録音されます。

PLAY TRK:

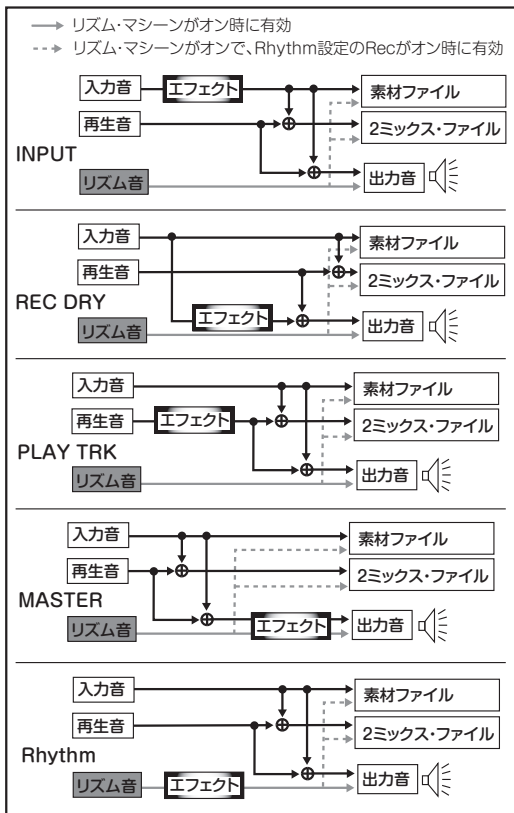
再生音に、エフェクトがかかります。録音ファイルは、再生音にエフェクトのかかった音が録音されます。

MASTER:

入力音と再生音をミックスした、マスターの音にエフェクトがかかります。録音トラックには、エフェクトを通らない音(ドライ音)が録音されます。

RHYTHM:

リズム音にエフェクトがかかります。RHYTHMカテゴリのRECページ設定が“ON”のときには、録音トラックにもエフェクトのかかったリズム音が録音されます。

リズム・マシンがオンのときに、有効になります。

TUNER

192ページ“チューナーを使う” をご覧ください。

DATA

データの削除やファイナライズ、およびカードのフォーマットなどを行います。

DELETE

1. この画面で“CURRENT”（現在選択中のソング）か、“ALL”（カード内のソングすべて）を選び、▶ボタンを押します。
2. 確認画面が表示されるので、▶▶ボタンを押して削除を実行します。
   確認画面のとき、◀◀ボタン押すとキャンセルされます。
3. 画面に“COMPLETE”と表示されたら、削除完了です。

本機はソングを削除した場合も、新規ソングは既存ソングの最後に作成されます。

FORMAT

メモリー・カードを使う場合、必ずはじめに本機でフォーマットを行ってください。

1. この画面で“EXECUTE”を選び、▶ボタンを押します。
2. 確認画面が表示されるので、▶▶ボタンを押してフォーマットを実行します。
   確認画面のとき、◀◀ボタン押すとキャンセルされます。
3. 画面に“COMPLETE”と表示されたら、フォーマット完了です。

本機以外の機器でフォーマットしたメモリー・カードは、正しく動作しないことがあります。

フォーマットを実行すると、メモリー・カードの内容はすべて消去します。消去しては困る重要なデータは、必ずコンピュータなどにバックアップをとってください。

CARDINFO

使用容量、空き容量を録音時間(分単位)に換算して表示します。

Uxxx:
使用容量を、分単位に換算して表示します。

Fxxx:
空き容量を、分単位に換算して表示します。

IMPORT

読み込めるフォーマットは、以下の通りです。また読み込みたいWAV/AIFFファイルは、本機でフォーマットしたメモリー・カードの、EXTAUDIOフォルダに保存してください。

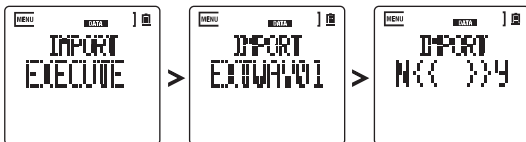
ファイル形式:WAVファイル、AIFFファイル

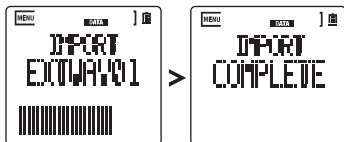
ファイルビット数:16bit、24bit

サンプリング周波数:44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz

ファイル名文字数:先頭の8文字まで表示

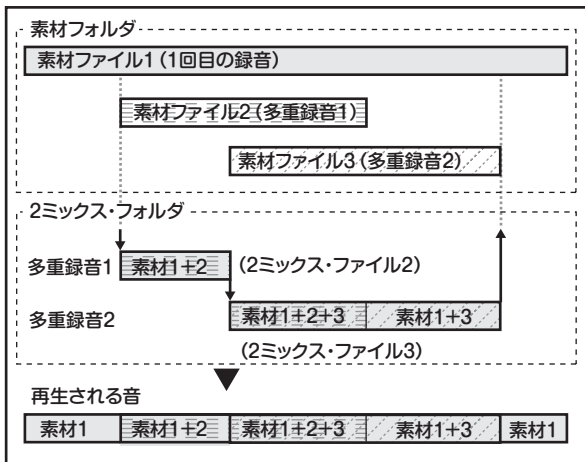
インポート手順

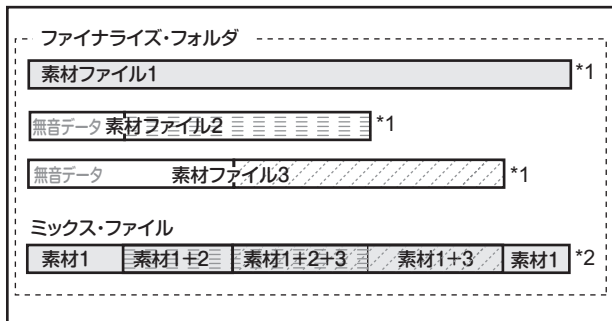
1. この画面で"EXECUTE"を選び、▶ボタンを押します。
2. EXTAUDIOフォルダ内にある、WAV/AIFFファイルを表示します。
3. 読み込みたいファイルを+、−ボタンで選択し、▶ボタンを押します。
4. 確認画面が表示されるので、▶▶ボタンを押してインポートを実行します。

5. 選択されたWAV/AIFFファイルが、ソングとしてロードされます。ファイル・フォーマットにより、時間がかかることがあります。
6. 実行時の進捗状況が、ディスプレイ下部にバーで表示されます。このときに停止ボタンを押すと、処理をキャンセルすることができます。

7. 画面に“COMPLETE”と表示されたら、インポート完了です。

読み込んだWAV/AIFFファイルは、新規ソングになります。

FINALIZE

本機で多重録音したソングは多重録音ファイルの他に、各録音時の素材ファイルを保存しています。
この多重録音ファイルおよび素材ファイルは、録音した部分だけを断片的に保存し、内部の時間管理情報により、録音された時刻から再生できるようにしています。

ファイナライズ前

この方法では、メモリー・カードの容量を必要以上に消費しないことがメリットになりますが、外部のDAW等で読み込み更に複雑な編集をしようとしたときに、時間軸がそろわないことがデメリットになります。

本機ではファイナライズをすることによって、断片的な素材ファイルに録音開始時刻までの無音データを付加したファイルに変換し、すべての素材の時間軸がそろうようになります。
なお、ミックス・ファイルは、そのままCDに書き込めるような1本のステレオ・ファイルになります。
また、ファイナライズのオプションで、素材ファイルだけのファイナライズ(*1)や、2ミックス.ファイルだけのファイナライズ(*2)を選択するもできます。

ファイナライズ後

このとき、多重録音時にスピードを変えて録音した素材ファイルは、自動的にオリジナルのスピードに変換してファイルが生成されます。

note 本機で生成されるWAVファイルは、時刻情報を持ったBWF(Broadcast Wave File)形式です。BWFに対応したDAWをご使用になる場合は、ファイナライズをしなくても時間軸がそろったファイルとして使用できます。

ファイナライズ時のメモリー・カードの消費容量について
本機はファイナライズを行っても、元の録音素材ファイルと2ミックス・ファイルを保存しています(→ p.215)。このため、ファイナライズ行う場合は、前もって容量の大きなメモリー・カードをご使用ください。たとえば、約120MBのファイナライズ前のファイル(185ページ参照)をファイナライズすると、最大でさらに約120MBのファイルが作られ、合計約240MBを消費します。

ファイナライズ手順

1. ファイナライズ画面で+、−ボタンでオプションを選びます。
   MATERIAL:素材ファイルのみファイナライズ
   2MIX:2ミックス・ファイルのみファイナライズ
   BOTH:
   素材ファイルと2ミックス・ファイルの両方をファイナライズ
2. ▶ボタンを押します。
3. 確認画面が表示されるので、▶▶ボタンを押してファイナライズを実行します。
   現在のソングのファイナライズ処理が、実行されます。
   ソングのサイズにより、時間がかかることがあります。
4. 実行時の進捗状況が、ディスプレイ下部のバーに表示されます。
   このときに停止ボタンを押すと、処理をキャンセルすることができます。

5. 画面に“COMPLETE”と表示されたら、ファイナライズ完了です。

ファイナライズを実行しても、メモリー・カード内に元のデータを保持しています(215ページ“本機のデータ構成” 参照)。

ファイナライズされたデータは、ソング内のファイナライズ・フォルダに保存されます(215ページ“本機のデータ構成” 参照)。ソング内にファイナライズ・フォルダがすでに存在する場合は、すべて上書きされます。

CARDTEST

メモリー・カードの自動読み書きを行い、本機で使用することができるかどうかのテストをします。録音時に必要な書き込み速度より遅いカードは、使用できないと判定します。
このテストにより、使える録音条件が判断できるので、お手持ちのメモリー・カードを有効に使用することができます。

このテストの結果は、絶対的な動作保障をするものではありません。録音できると判定されても、録音条件や使用状況等により、“CARDBUSY”などのエラーになる場合があります。

1. この画面で“EXECUTE”を選び、▶ボタンを押します。
2. 確認画面が表示されるので、▶▶ボタンを押してテストを実行します。

メモリー・カードのテストが実行されます。
メモリー・カードの種類により、時間がかかることがあります。

3. 実行時の進捗状況が、ディスプレイ下部のバーで表示されます。このときに停止ボタンを押すと、処理をキャンセルすることができます。

4. 画面にテストの結果が表示されたら、テスト完了です。テスト結果は3段階で表示されます。

ALL OK:本機の録音機能はすべて使うことができます。

1TRK OK:通常の1回録音ができます(多重録音不可)。

UNUSABLE:本機で録音することができません。

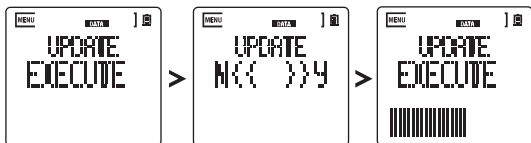
UPDATE

本機のシステムをアップデートします。
最新のシステム・ファイルは、コルグ・ホームページ(http://www.korg.co.jp)からコンピュータにダウンロードすることができます。詳しい手順については、コルグ・ホームページでご確認ください。

⚠ アップデート中は途中で電源が切れないように、新品の電池容量が十分な電池、またはACアダプター(別売)を使用してください。
アップデート中に、電源がオフになるなどの不慮の事故が発生した場合、本機が正常に動作しなくなる場合があります。その場合には、コルグお客様相談窓口にご相談ください。

1. ダウンロードしたシステム・ファイルを、メモリー・カードのSOS_DATAフォルダに保存します。

2. この画面で“EXECUTE”を選び、▶ボタンを押します。

3. 確認画面が表示されるので、▶▶ボタンを押してシステムのアップデートを実行します。

アップデート中は、進捗状況が画面下部のバーで表示されます。

4. 画面に“COMPLETE”と表示されたら、システムのアップデートが完了します。
5. 本機のいずれかのボタンを押すと、PWR OFFダイアログが表示されます。
6. ▶▶ボタンを押して電源を切ってください。
7. 再度、電源ボタンを押すと、アップデートを行ったシステムで起動します。

MISC

ディスプレイの点灯設定やキャリブレーションなどを行います。

VOLUME

録音時のモニター音量を調整します。このとき表示される画面、および操作は、再生時に+、−ボタンを押した状態と同じ(→ p.184)になります。

DATE

年月日の設定をします。
ここの設定は録音したソングの情報として使用されます(→ p.176)。

1. ▶ボタンを押して、年表示を点滅させます。
2. 変更する項目は◀◀、▶▶で移動し、+、−ボタンで年月日を設定します。
3. ▶ボタンを押すと、点滅が点灯にかわり設定が確定します。
   設定をキャンセルするときは、停止ボタンを押します。

TIME

時間の設定をします。
ここの設定は録音したソングの情報として使用されます(→ p.176)。

1. ▶ボタンを押して、時表示を点滅させます。
2. 変更する項目は◀◀、▶▶で移動し、+、−ボタンで時分秒を設定します。
3. ▶ボタンを押すと、点滅が点灯にかわり設定が確定します。
   設定をキャンセルするときは、停止ボタンを押します。

B•LIGHT

ディスプレイのバックライトの点灯時間を設定します。

OFF:バックライトを常時消灯します。

ON:バックライトを常時点灯します。

10sec、20sec、30sec:表示秒数、操作をしない時間が続くと、バックライトを消灯します。

LED

LEDの点灯時間を設定します。

OFF:LEDを常時消灯します。

ON:LEDを常時点灯します。

B•LIGHT:LEDの点灯時間を、上記B•LIGHTページの設定と同じにします。

BATTERY

電池の残量を正しく表示するため、電池の種類を設定します。

ALKALINE:アルカリ電池を使用する場合。

NI-MH:ニッケル水素電池を使用する場合。

PEAKHOLD

レベル･メーターのピーク･ホールド時間を設定します。

0SEC：ピーク･ホールド表示しません。

2SEC：ピーク･ホールド値が２秒間表示されます。

INFINITY：ピーク･ホールド値が常に表示されます。

A•PW•OFF

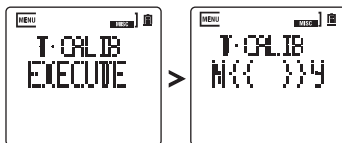
一定時間操作を行わないと電源が自動的にオフになる時間を設定します。なお録音、再生の動作中は、電源は自動的にオフになりません。

OFF：自動的にオフになりません（機能オフ）

3MIN、5MIN、10MIN、30MIN：それぞれ設定した時間操作しなかったとき、電源が自動的にオフになります。

T•CALIB

ディスプレイ下部のタッチ操作時に、押したところと違う位置が選ばれてしまうときなどに、ディスプレイとタッチ位置のずれを調整します。

1. この画面を表示させて“EXECUTE”を選び、▶ボタンを押します。
   確認画面が表示されます。

2. ▶▶ボタンを押して調整を実行します。
   “TOUCH L”という表示に変わります。

3. タッチ領域の左端をタッチします。
   正しく認識すると、自動的に“TOUCH R”という表示に変わります。
4. タッチ領域の右端をタッチします。
5. 正しく認識すると“COMPLETE”と表示され調整が完了します。

F•RESET

本機の各種設定内容を、工場出荷時の状態に初期化します。
なお、この操作によって、メモリー・カード内のソングが消失することはありません。

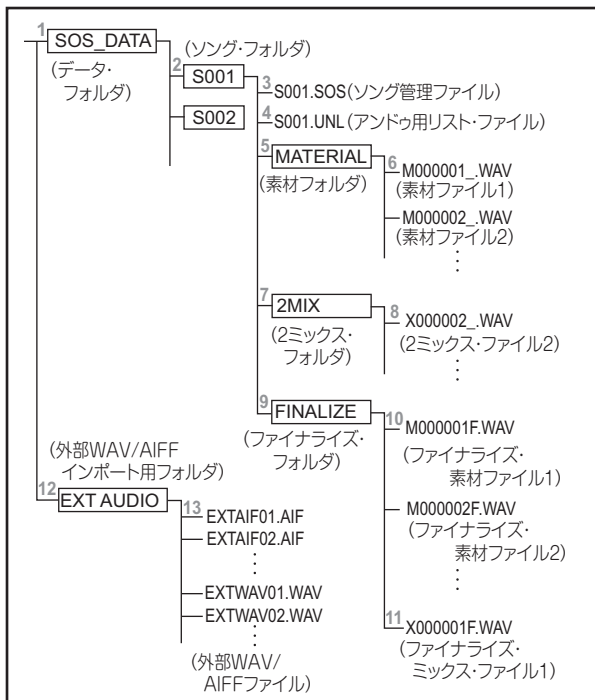
1. この画面を表示させて“EXECUTE”を選び、録音ボタンを押します。
   確認画面が表示されます。
2. ▶▶ボタンを押して初期化を実行します。

3. 初期化が完了すると、ディスプレイに“COMPLETE”と表示されます。

付録

本機のデータ構成

本機でフォーマット/録音したメモリー・カードは、以下のような構成になっています。

フォルダ、ファイル構成

1. SOS_DATA(データ・フォルダ)
本機のシステム・データ、録音データが保存されます。
このフォルダ内にメモリー・カードの残り容量の許す限り、ソング・フォルダを作ることができます。

2. S001(ソング・フォルダ)
本機で録音した際にソング毎にできるフォルダです。新規ソングを作ると、S001から順番に作られます。
Sに続く3桁の数字が、ソング番号に対応します。
このフォルダをコンピュータなどでリネームするときは、5文字目以降に名前を付けるようにしてください。
本機のソングをコンピュータにバックアップする場合は、このソング・フォルダごとコンピュータにコピーしてください。

コンピュータからソング・フォルダにデータを戻すときに、フォルダ名のソング番号が重ならないようにしてください。

3. S001.SOS(ソング管理ファイル)
各素材ファイルや、2ミックス・ファイルの時間管理情報、リズム・マシンやエフェクトの設定情報が記録されています。
拡張子.SOSがついたファイルは、ソング・フォルダに1つだけしか入れることができません。

4. S001.UNL(アンドゥ用リスト・ファイル)
アンドゥ管理ファイルです。アンドゥ/リドゥを行うための、管理情報が記録されています。

5. MATERIAL(素材フォルダ)
多重録音時の素材ファイルを保存するフォルダです。

6. M000001_.WAV(素材ファイル)
最初の録音、および多重録音時の、2ミックス前の素材データ(入力音)が保存されています。

7. 2MIX(2ミックス・フォルダ)
多重録音時の、2ミックス・ファイル(再生音+入力音)を保存するフォルダです。

初回録音の2ミックス・ファイルは作成されません。

8. X000002_.WAV(2ミックス・ファイル)
多重録音時の2ミックス・データが記録されています。

9. FINALIZE(ファイナライズ・フォルダ)
ファイナライズした素材ファイル、ミックス・ファイルを保存するフォルダです。

ファイナライズの実行前は作成されません。

10. M000001F.WAV(ファイナライズ素材ファイル)
再生開始位置までゼロ・データが埋め込まれているので、DAWのトラックに並べたときに、各トラックの時間軸が一致します。

11. X000001F.WAV(ファイナライズ・ミックス・ファイル)
44.1kHz/16bitとなっているので、このままコンピュータにコピーして、オーディオCDを作成することができます。

12. EXTAUDIO(外部WAV/AIFFインポート用フォルダ)
外部のオーディオ・ファイル(WAV/AIFF)をインポートするときに使用する保存フォルダです。
このフォルダに保存されているWAV/AIFFファイルをインポートすることができます。

13. 外部WAV/AIFFファイル
本機のソングにインポートするための、外部ファイルです。
以下のフォーマットのファイルを、インポートすることができます。

ファイル形式:WAVファイル、AIFFファイル

ファイルビット数:16bit、24bit

サンプリング周波数:44.1kHz、48kHz、88.2kHz、96kHz

ファイル名文字数:先頭の8文字表示

各種メッセージ

実行メッセージ

CANCELED
各種実行が、キャンセルされました。

COMPLETE
各種実行が、正常に完了しました。

エラー・メッセージ

A/B SWAP
A/BループのAポイントがBポイントの後ろに設定されたため、入れ替えました。

CANNOT
現在この操作は実行できません。

CARDBUSY
メモリー・カードのアクセスが遅く、録音/再生が間に合いませんでした。本機で動作確認された、メモリー・カードをお使いください。

ソングの書き込みや削除を繰り返すことによって、メモリー・カードのソングの並びが不規則になり、処理能力が低下することがあります。この場合には、必要なソングをコンピュータにバックアップしてから、メモリー・カードをフォーマットしなおしてお使いください。

CARD ERR
メモリー・カードのアクセス中に、エラーが発生しました。
メモリー・カードをコンピュータに接続し、チェック・ドライブを行ってください。
チェック・ドライブを実行してもエラー・メッセージが表示される場合は、メモリー・カードのフォーマットを行ってください。

CARDFULL
メモリー・カードの残量が足りません。不要なソングを削除してください。

FSYS ERR
メモリー・カード処理でエラーが発生しました。
再起動後も頻繁に発生する場合、お客様相談窓口にお問い合わせください。

ILL.FILE
取り扱うことのできないデータです。

MEM.ERR
内部処理でエラーが発生しました。再起動後も頻繁に発生する場合、お客様相談窓口にお問い合わせください。

NO CARD
メモリー・カードがありません。

SONGFULL
ソングを新規作成できません。
本機で作成できるソング数は200です。

SUM ERR
システム・アップデートに、失敗しました。はじめからもう一度やり直してください。
再度表示されるときには、お客様相談窓口に問い合わせください。

UNFORMAT
メモリー・カードが、フォーマットされていません。

!REC.REC
レコーダーが録音中のため、実行できません。
レコーダーを停止させてください。

!REC.RUN
レコーダーが再生中のため、実行できません。
レコーダーを停止させてください。

その他のメッセージ
本体の不具合、故障などの場合に表示されます。
お客様相談窓口にお問い合わせください。

故障かな？と思う前に

電源が入らない

○ 電池の極性(+、−)は合っていますか？
○ 電池の残量はありますか？
○ ACアダプターは正しく接続されていますか？

勝手に電源が切れてしまう

○ オート・パワー・オフの設定をしていませんか？(→ p.213)

ディスプレイが暗い

○ バックライトが消える設定になっていませんか？(→ p.212)

LEDが点灯/点滅しない

○ LEDが消える設定になっていませんか？(→ p.212)

操作できない

○ ホールド機能が、オンになっていませんか？(→ p.178)

タッチ操作時の反応がおかしい

○ タッチ操作のキャリブレーションを行ってください(→ p.213)。
それでも正しく動作しない場合、お客様相談窓口にお問い合わせください。

音が出ない

○ 接続している機器の電源はオンになっていますか？
○ アンプやヘッドホンの接続は、間違っていませんか？

GUITAR IN、MIC端子に接続した機器の音量が小さい

○ 抵抗入りのケーブルを使用していませんか？
抵抗の入っていないケーブルを使ってください。

再生音が、聞こえない

○ ボリュームがゼロになっていませんか？

内蔵スピーカーから音が聴こえない

○ ヘッドホンを接続しているときや、内蔵マイクの入力が有効なときは、内蔵スピーカーからの音は出ません。

入力/録音された音がおかしい

○ エフェクトが掛かっていませんか？(→ p.190)

○ 入力レベルは、適切に設定されていますか？(→ p.197)
○ トーンが設定されていませんか？(→ p.197)

入力音が聞こえない

○ 入力レベルは、正しく設定されていますか？(→ p.197)
○ 録音待機、録音状態になっていますか？
○ 機器の接続は正しいですか？(→ p.182)
○ プラグイン・パワー対応のマイクを接続した場合は、プラグイン・パワーの設定を“ON”にしてください(→ p.198)。
○ 外部機器の音量を正しく調節していますか？
○ リズムのREC設定が“ON”になっていませんか？(→ p.202)
○ ミックス・バランスの設定は適切ですか？(→ p.200)
○ ボリュームが“0”になっていませんか？(→ p.211)

録音できない

○ 入力レベルは、正しく設定されていますか？(→ p.197)
○ メモリー・カードは、入っていますか？
○ メモリー・カードの残量はありますか？(→ p.206)
○ リズムのREC設定が“ON”になっていませんか？(→ p.202)
○ ミックス・バランスの設定は適切ですか？(→ p.200)

録音が途切れている

○ 録音中に本体に衝撃を与えませんでしたか？
○ 録音途中で電池が切れませんでしたか？

正常に起動できない

○ メモリー・カードの内容が不正な可能性があります。
○ 本機でメモリー・カードを正しく読み込めず、正しく起動できない場合があります。
この場合、本機の録音ボタンとMENUボタンを押しながら電源を入れると、起動時に強制的にメモリー・カードをフォーマットする事ができます。メモリー・カードをフォーマットしても正常起動できない場合、お使いのメモリー・カード、もしくは本機が壊れている可能性があります。別のメモリー・カードを使用しても起動できない場合は、お客様相談窓口にお問い合わせください。

メモリー・カードをフォーマットすると、メモリー・カードの内容はすべて失われます。

エフェクト・タイプ

GTR:ギターやベースに適したエフェクト							
01	CLN TONE	10	AC15	19	AC LEAD	28	FX PITCH
02	CRUNCH	11	'80S AXE	20	THROAT	29	STROBO
03	HUGELEAD	12	HARDLEAD	21	CLNPITCH	30	AC30
04	FLANGED	13	TOUCHWAH	22	UK '70S	31	USHIGAIN
05	BLK 2X12	14	AC PHASE	23	UK '80S	32	BROKEN
06	UK BLUES	15	PWRBLUES	24	RINGMOD	33	LIMITERB
07	UKMODERN	16	TALKDLY	25	CLN VIBE	34	COMPEQ B
08	DISPITCH	17	TAPECHO	26	BUTIQ OD	35	CHORUS B
09	OCT VERB	18	TWD 4X10	27	USMODERN	36	OD BASS
MIC:ボーカルやアコースティック・ギターなどマイク使用時に適したエフェクト							
37	HALLVERB	44	AG LOCUT	51	SHORTDLY	58	DECIMATE
38	ROOMVERB	45	HIFI EQ	52	CHORUS	59	RING DLY
39	CHRSVERB	46	RAYDEEOH	53	FLANGER	60	ALIEN
40	DLYVERB	47	PINGPONG	54	UNIVIBE	61	SPRINGFX
41	TUBE PRE	48	BPMDELAY	55	VO SLICE		
42	CH STRIP	49	FILTRDLY	56	LILVOICE		
43	TOUCH EQ	50	PANDELAY	57	TUBEDIST		
MST:録音したソングや内蔵リズム・マシン、ライン入力に適したエフェクト							
62	HALL	70	LIMITER	78	LPFDELAY	86	PHASER
63	S HALL	71	AMPBOX	79	HPFDELAY	87	AUTOPAN
64	DRYPLATE	72	LPF24	80	BPFDELAY	88	BPMSLICE
65	B ROOM	73	HPF12	81	CHORSDLY	89	CRUSHER
66	EQ FLAT	74	BPF	82	PHASEDLY	90	RING BOX
67	TUBE EQ	75	LFOFILTR	83	DIFFUSER	91	TALKMOD
68	TUBECOMP	76	BPM ECHO	84	LFOJET	92	LFO WAH
69	MSTRCOMP	77	TAPDELAY	85	TOUCHJET	93	PITCHSHIFT
TCH:タッチ・スライダーにふれて効果をかけることができるエフェクト							
94	TOUCHLPF	96	HPFLOOP	98	REVERSE	100	TCHGRAIN
95	TOUCHHPF	97	HPFLOOP	99	TIMEBEND		

リズム・タイプ

01	8BEAT 1	14	ROCK 4	27	POP 4	40	LATIN 4
02	8BEAT 2	15	ROCK 5	28	POP 5	41	HIPHOP 1
03	8BEAT 3	16	ROCK 6	29	GROOVE 1	42	HIPHOP 2
04	8BEAT 4	17	ROCK 7	30	GROOVE 2	43	DIGIROCK
05	8BEAT 5	18	ROCK 8	31	GROOVE 3	44	HOUSE
06	16BEAT 1	19	HARDROCK	32	GROOVE 4	45	TECHNO
07	16BEAT 2	20	METAL	33	JAZZ 1	46	ELEKTRO
08	16BEAT 3	21	ROCNROLL	34	JAZZ 2	47	METRO 1
09	16BEAT 4	22	COUNTRY	35	JAZZ6/8	48	METRO 2
10	16BEAT 5	23	BLUES	36	WALTZ3/4	49	METRO 3
11	ROCK 1	24	POP 1	37	LATIN 1	50	METRO 4
12	ROCK 2	25	POP 2	38	LATIN 2		
13	ROCK 3	26	POP 3	39	LATIN 3		

仕様

使用条件:　0～＋40度(結露させないこと)

■主要各部

＜レコーダー部＞

録音フォーマット:	PCMオーディオ・フォーマット WAV形式(拡張子.wav)、BWF準拠 44.1kHz@16bit
録音時間:	使用メモリー・カードに依存 1GBあたり約100分 *新規ソングへの初回録音時 最長連続録音時間6時間
ソング数:	最大200
多重録音数:	メモリー・カードの残り容量に依存
アンドゥ/リドゥ:	メモリー・カードの残り容量に依存
テンポ:	30～240
リズム・タイプ数:	50
カウンター:	Hour/Min/Sec、Mase/Beat/Quater Beat

＜エフェクト部＞

エフェクト・カテゴリ:	ギター、マイク、マスター、タッチ
エフェクト・タイプ数:	100

＜チューナー＞

音律:	12平均律
チューニング・モード:	クロマチック、ギター、ベース

＜カード＞

使用可能カード:	microSDカード(512MB～2GB) microSDHCカード(4GB～16GB) *2GB以上推奨

＜一般＞

ディスプレイ:	タッチパネル、バックライト付きLCD
電源:	単3形電池2本 (アルカリ乾電池またはニッケル水素充電池) 別売ACアダプター(DC4.5V ⊖-C-⊕):KA191

外形寸法:	69mm(W)×135mm(H)×35mm(D)
重量:	140g(メモリー・カード、電池含まず)
付属品:	取扱説明書、 動作確認用単3形アルカリ乾電池×2

■主要規格

<入力端子>

GUITAR IN:	コネクタ	φ6.3mmフォーン・ジャック(不平衡)
	入力インピーダンス	470kΩ
	規定レベル	−6[dBv]
LINE:	コネクタ	φ3.5mmステレオ・ミニ・フォーン・ジャック
	入力インピーダンス	14kΩ
	規定レベル	−6[dBv]
MIC:	コネクタ	φ3.5mmステレオ・ミニ・フォーン・ジャック(プラグイン・パワー切替可)
	入力インピーダンス	15kΩ
	規定レベル	MIC GAIN:LOW −22[dBv] MIC GAIN:MID −30[dBv] MIC GAIN:HIGH −38[dBv]

<出力端子>

ヘッドホン:	コネクタ	φ3.5mmステレオ・ミニ・フォーン・ジャック
	最大レベル	25mW×25mW@16Ω

<スピーカー>

インピーダンス	8Ω
最大出力	0.8W

<周波数特性>

20Hz〜20kHz±1dB

※ 仕様および外装は改良のため予告なく変更することがあります。